

第 235 号 発行日 平成 28 年 7 月 31 日

合格通信

今
月
ッ
名
言

平凡なことを完璧にやり続けること
で胆力がつく。

— 稲盛 和夫 —
(京セラ創業者)

やっとな梅雨が明けたかと思えば連日猛暑が続いています。熱中症などにお気を付けてください。中3生は講習会の真最中で入試に向けて、いつもの授業より真剣に取り組んでおり、受験生という自覚が出てきた感じです。この調子で夏の間基礎学力を盤石なものにしていきましょう。他の学年も長期休暇中は復習に絶好の機会です。苦手分野などをこの間にみっちり復習して2学期のからの学力向上につなげましょう。



人は忘れる動物、忘れる以上に覚えること。

覚えたことを忘れないためには

1時間後には覚えたことの半分以上を忘れ、さらに翌日には7割がた忘れるそうです。エビングハウスの忘却曲線に沿って勉強することは理想的なのですが、いざ実行するとなると難しいことです。しかし何もしないでは、せっかくの勉強もむだになってしまいます。そこで最低限の忘れないための3つの方法を実行しましょう。

一つ目は「6回繰り返すこと」。人は同じことを6回聞くと覚えてしまうそうです。最低6回、これが忘れることを防ぐ回数です。問題集でも参考書でも6回繰り返しましょう。それだけやって記憶に定着します。

二つ目は、「学習直後の復習です」左記に述べたとおり、学習の1時間後に半分忘れるのですから、1時間後に復習すれば、かなり忘れることを防げます。塾で習ったことも家に帰って1時間後ぐらいに、復習すると効果的です。

三つ目は「翌日の復習です」これをやっておくと、半分以上忘れてしまうのが、8割前後まで覚えているのがわかっています。

- 6回繰り返す
- 学習直後の復習
- 翌日の復習

この三つを徹底しておくことで、忘れることを防げます。
勉強したことを無駄にしないためにも、ぜひ実行してください。